いちのみやの社会福祉

2011
No.18
2月号
発行　社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
福祉のまちづくり

第22回 みんなと一緒に 福祉とボランティア活動展 手話体験コーナー（指文字）

もくじ

・赤い羽根共同募金運動実績……2
・赤い羽根作品コンクール入賞者一覧……3
・全国・愛知県社会福祉大会、
　一宮市社会福祉大会の表彰者一覧……4
・厚生労働大臣表彰者・善意のご寄付……5
・ボランティア養成講座のご案内……6
・家族介護者リフレッシュ事業のご案内
　障害者とボランティアのふれあいボウリング大会　7
・特集
　「第1回福祉サービス見学バスツアー」……8・9
・ふれあい・いきいきサロン……10
・ケアマネジャーだより……11
・各種事業の報告……12・13
・編集ボランティアのページ……14・15
・赤い羽根作品コンクール特賞作品……16

平成22年度 赤い羽根共同募金運動実績

地域福祉のために温かいご協力ありがとうございました

種別募金額

（円）

募金種別	募金額
戸別募金	29,782,983
法人募金	9,777,212
学校募金	1,402,351
街頭募金	694,919
職域募金	455,390
その他	72,067
合計	42,184,922

（12月25日現在）

連区別募金額

（円）

連区名	募金額	
	戸別募金	法人募金
宮西	728,550	370,000
貴船	886,700	378,300
神山	1,037,810	469,000
大志	541,700	442,000
向山	566,600	288,000
富士	786,000	298,500
葉栗	1,352,761	418,300
西成	2,875,609	1,031,700
丹陽	1,586,081	810,100
浅井	1,693,246	506,200
北方	892,600	327,500
大和	2,949,562	690,500
今伊勢	1,848,870	303,000
奥	1,085,000	430,000
萩原	1,467,440	745,000
千秋	1,341,348	314,800
起	329,100	178,000
小信中島	930,913	270,000
三条	1,234,210	401,500
大徳	983,920	231,712
朝日	1,179,600	363,000
開明	725,310	227,600
木曽川	2,760,053	282,500
合計	29,782,983	9,777,212

皆様からお寄せいただいた募金は、地域福祉の充実のために役立てられます。

一宮市共同募金委員会

平成22年度

赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール

多数のご応募ありがとうございました

「国民たすけあい共同募金運動」の健全な推進を図るため、児童・生徒の皆さんにも「たすけあい」の理解と認識を高めていただくようにとの趣旨から、書道・ポスター作品の募集をしたところ、書道の部 9,066 点、ポスターの部 3,988 点の応募がありました。

本会において審査会を開催し、特賞以外の上位入賞者を下記のとおり選出いたしました。

特賞の方の作品は 16 ページに掲載いたしました。

（敬称略）

書道の部　入賞者一覧

学校名	学年	氏　名
1　位		
浅井南小	6	田上　翔悟
萩原小	5	小沢　理子
千秋南小	4	髙野　茉歩
木曽川東小	3	松下和佳奈
浅井中	1	石井　美帆
千秋中	1	岸　誠
尾西第一中	3	宮崎　颯大
2　位		
宮西小	5	今枝　志穂
宮西小	5	浅井理紗子
貴船小	3	杉本　理紗
貴船小	6	吉田　将希
葉栗小	4	石黒　舞依
西成小	3	木村　仁美
丹陽小	4	細江菜乃子
浅井南小	3	森　麻由香
浅井南小	4	浅井　麻衣
浅井北小	5	石井　貴啓
浅井北小	5	粟根穂乃花
奥小	3	田中　佑璃
奥小	6	成瀬ゆきの
萩原小	6	浅野　未鈴
北部中	3	岩本　桃和
南部中	3	中野谷　悠
南部中	3	暮林　佳穂
西成中	1	川浦　大知
浅井中	2	田上　功也
北方中	2	名知　里奈

学校名	学年	氏　名
3　位		
宮西小	5	滝　香織
大志小	6	齊藤　夕華
西成小	6	林　由莉
瀬部小	6	小寺　俊徳
浅野小	3	松岡　俊佑
浅野小	4	長谷川　蒼
丹陽西小	3	服部　志温
丹陽南小	5	伊藤　友也
浅井北小	5	鈴木　舞
今伊勢小	3	五島　羅美
奥小	4	伊藤穂乃賀
奥小	5	辛島　悠斗
萩原小	5	中野　晃大
中島小	4	平野　佑輔
千秋小	4	江本　幸佳
千秋南小	3	山添　華
千秋南小	3	山﨑　美音
西成東小	6	斉藤　正樹
木曽川東小	4	小澤　拓実
木曽川東小	6	上村　遥
南部中	1	長森　晴菜
葉栗中	3	水谷　静香
丹陽中	3	山口友梨子
丹陽中	3	杉山　涼華
浅井中	1	大島実沙子
大和中	2	浅野　太紀
奥中	3	福島　克弥
尾西第一中	1	吉田　茉由
尾西第二中	2	佐久間理帆
尾西第三中	3	安藤　真望

ポスターの部　入賞者一覧

学校名	学年	氏　名
1　位		
浅野小	3	平出　侑輝
朝日東小	6	松本　奈美
朝日東小	6	南雲　梨花
開明小	1	石川　芽依
北方中	2	島津　利奈
尾西第三中	1	中村　美友
尾西第三中	3	三輪　明里
2　位		
貴船小	2	岩田　遥加
神山小	6	河合　菜穂
赤見小	6	舟橋　春香
浅井北小	1	青木　琴音
北方小	1	原　涼香
大和東小	6	山口　礼奈
葉栗北小	2	野々垣　陸
起小	5	櫻井　麻梨
三条小	4	吉川　大貴
小信中島小	3	中出　佳那
朝日東小	4	小池　貴誠
朝日東小	5	寺澤　蓮
大徳小	4	日比野有紗
木曽川東小	2	高間　柚奈
中部中	1	山下　凛子
南部中	2	神谷　和奏
北方中	1	山田　篤志
奥中	3	神田万友香
大和南中	1	北川　桃佳
尾西第三中	3	岩田　美希

学校名	学年	氏　名
3　位		
宮西小	1	吉田　龍斗
神山小	4	林　大夢
神山小	6	伊藤涼太朗
向山小	2	木村　優奈
向山小	3	後藤　充輝
向山小	3	関　柚衣佳
浅野小	4	前田　遥香
北方小	4	原　菜津穂
大和東小	2	佐々　明
奥小	1	髙橋　実歩
今伊勢西小	5	野村　克樹
今伊勢西小	5	山田　葉月
起小	3	野口　真平
起小	6	渡辺　共香
三条小	2	近藤　菜摘
三条小	5	仙野　翔愛
小信中島小	6	浅川　由悟
開明小	3	辻　楓菜
黒田小	4	小川　裕加
黒田小	5	野々垣紗英
木曽川西小	1	光崎　澪
木曽川西小	6	澤井　伸次
北部中	3	河合　優美
中部中	1	青井野乃子
中部中	1	井山　楓
南部中	2	平野　輝介
南部中	2	後藤　さり
南部中	3	渡辺　深月
浅井中	1	金森　由真
大和中	1	小関亜由美

表彰おめでとうございます

◆平成22年10月21日、愛知県体育館において第58回愛知県社会福祉大会が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

◎愛知県社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員

中村　勉　　宮川　市大郎

・社会福祉施設・団体役職員

橋本昭一　　冨板清彦

・里親

二宮幸雄

・その他、社会福祉事業の進展に寄与した者

美西グループ

◎愛知県共同募金会会長表彰

・奉仕功労者

大島　弘　　山内惟弘　　苅谷妙子　　鈴木三男　　中西　勉

◆平成22年11月5日、東京厚生年金会館において平成22年度全国社会福祉大会が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

◎全国社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員功労者

北島信行

・永年勤続功労者

大塚一美　　川井敏子　　石井春美　　梅村尚子　　加藤昭子
木村菜穂美　　神田泰子　　神戸一枝　　今枝孝子　　近藤啓子
伊藤真由美　　伊奈厚子　　八木美津子

◆平成22年11月15日、一宮市民会館において第15回一宮市社会福祉大会が行われ、次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

◎一宮市社会福祉協議会会長表彰

・社会奉仕活動者

エス・ビー建材株式会社

・地域福祉貢献者（一宮市社会福祉協議会役員）

鵜飼一三　　渡邉尚彦
浅野總一郎　　坂上團治郎
臼井孝嘉　　村岡堯淳
河村保久　　古池輝二
鈴木三男　　近藤千鶴子
丹菊佳代

・地域福祉貢献者（一宮市社会福祉協議会支会役員）

松井二三子　　浅井美智　　金子珠美　　濱平幸昭　　鵜飼良典
佐野盛久　　森下知子　　若月六郎　　小酒井英年　　松原　恒
星野文子　　吉田一彦　　苅谷妙子　　玉腰勝英　　花木英雄
渡辺一美　　加藤可津子　　神谷　勝　　長屋英雄　　棚橋弘美
鎌田傳夫　　岡田浅子　　村橋榮二　　今枝一成　　市川保彦
川口惠利子　　五藤隆一　　山田武司　　上本美智子　　渡邉美智子
澤野光雄　　西川　凱　　安藤　巖　　足立重喜　　山中貞雄
多々見範子　　大津　純　　吉田民雄　　則竹常吉　　伊藤孝尾
磯部敏雄　　長谷川　要　　渡邉之良　　髙橋みさ子　　加納　勉
浅野冨士男　　筧　小夜子　　小山静子　　足立美惠子　　牧　佐和子

浅野啓子　野村和子　前田裕一　大橋邦夫　牧野彌榮
髙﨑英美

・**社会福祉施設・団体役職員**

野村まさみ　中島和美　佐々木　香　佐合千春　田中慎治
團迫武士　石井洋美　柴垣美幸　野杁　泉　石川幸恵
藤井愛子　島田真由美　米澤香奈子　室伏定子　長柄チヨ子
磯村秀子　社本久美子　小木曽晃久　竹田　薫　野藤早苗
松本尚代　森本シズエ　洞井弓子　遠藤修正　森本　勝
玉腰由里子　伴　由美子　堀田智子　加藤久美子　戸松範子
山本曜子　山内明美　林　三枝

◆平成22年12月3日、中央合同庁舎において平成22年度障害者自立更生等厚生労働大臣表彰が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。

◎厚生労働大臣表彰

・**自立更生者**

木村美和子

・**更生援護功労者**

松本春一

善意のご寄付ありがとうございました

平成22年8月1日～11月30日

（敬称略・順不同）

エス・ビー建材（４回）	豊田合成尾西工場
パチンコキング一宮	藤久商店ご利用の皆様
ニッケインドアテニス	尾西信用金庫
坂崎富子	壱番屋ボランティア委員会
向山連区盆踊り実行委員会	ラパン・アジル
枠杁町老人会Ｒ会有志	ケイ・クリエイト
一宮市ボランティアセンター登録ボランティアグループ	一宮菊花大会
愛の募金箱設置店	一宮興道高等学校生徒会
大志女性の会	愛知西農業協同組合
西尾張建設共同組合	きそ川すいせん会
起工業高等学校機械科	匿名　22 件

合計　1,621,292 円

一宮市社会福祉協議会に福祉巡回車が寄贈されました

平成22年12月9日、名古屋市中区錦の栄広場にて、福祉巡回車の寄贈式が行われ「ふれあい号」を愛知県生命保険協会様よりご寄贈いただきました。

お受けしました「ふれあい号」はサービス利用者の訪問並びに福祉活動事業等に活用してまいります。ご寄贈いただき、誠にありがとうございました。

ボランティア養成講座のご案内

あなたの人生を豊かにする　退職者ボランティア講座

日　　程　2月17日～3月10日の毎週木曜日　午前10時～正午
会　　場　一宮市社会福祉協議会　本部
対　　象　おおむね56歳以上の退職者
内　　容　新しい仲間とともに地域社会に根ざしたボランティア活動を行うため、心構えと基本ノウハウを体得する
定　　員　30名（先着順）
受 講 料　無料
申し込み　2月3日（木）午前9時から電話で本部（24－2940）

回	月　日	テ ー マ	講　　師
1	2月17日(木)	ボランティア活動	尾張一宮観光ガイドボランティア 代表　市　山　隆　三氏
2	2月24日(木)	傾聴ボランティア	傾聴ボランティアみみの木 代表　早　川　一　枝氏
3	3月 3日(木)	スポーツボランティアと 体力づくり	愛知県障害者スポーツ指導員 愛知県健康づくりリーダー　酒　井　マチ子氏
4	3月10日(木)	さあ始めようボランティア	NPO 法人ボランティアグループリーダーの会 理事長　浅　野　總一郎氏

※テーマは変わる場合があります。

視覚・肢体障害者の外出を支援する　ガイドヘルプ講習会

日　　程　2月28日(月)･3月14日(月)　両日とも 午前10時～午後3時
会　　場　一宮スポーツ文化センター
対　　象　市内在住･在勤で、視覚･肢体障害者の福祉に関心がありボランティア活動を希望する方
内　　容　ガイドヘルプについての講義、実技、屋外体験実習など
定　　員　20名(先着順)
受 講 料　無料（実習用昼食・バス・電車代は各自負担）
申し込み　2月7日(月)午前９時から電話で本部(２４―２９４０)

家族介護者のみなさんへ リフレッシュ事業に参加しませんか？

日々の介護から少しの間だけ離れ、同じように家庭で介護をしている方々と日頃の悩みや体験を語り合って、介護疲れを癒しリフレッシュしましょう。

対 象 者：・市内在住の方で「介護保険法」において「要支援１・2、要介護１～5」と認定された方を在宅で介護されている方
・両日とも参加できる方

参 加 費：500 円

定　　員：30 名（先着順）

申し込み：２月７日（月）
午前９時から電話で本部（24 － 2940）

日時・内容など

月　日	時　間	集　合　場　所	内　容
2月25日(金)	午後1時30分～ 午後3時	一宮市社会福祉協議会 本部　会議室	介護者研修会 （講師：保健師）
3月　4日(金)	午前9時～ 午後4時30分	一宮駅南高架下	日帰りバスツアー 足助：中馬のおひなさん 見学、笹戸温泉（豊田市）

障害者とボランティアのふれあいボウリング大会

普段外出の機会の少ない障害者の方に積極的に外に出ていただき、また、ボランティアの皆さんと一緒にボウリングをして、ふれあうことで楽しいひとときを過ごしてもらうものです。
障害をお持ちの皆さん、みんなで楽しくボウリングをしましょう！

日　　時：2月27日(日)　午後3時～5時

会　　場：アソビックスびさい

対　　象：市内在住・在勤で障害者手帳を持つ方

内　　容：２ゲーム

定　　員：70名(先着順)

参 加 費：500 円（２ゲーム、貸靴代を含む）

申し込み：2月3日(木)～10日(木)に電話で
尾西支部(６３－４８００)

援部会

ービス見学バスツアー」

福祉サービス見学バスツアー」の内容と同協議会で行っていることをご紹介します。

見学5 コスモス

山のような量のアルミ缶、ペットボトル、それを運ぶリフトや大きな機械の音。案内スタッフの可愛い声が聞こえなくて残念。次回は拡声器を準備しなくては!施設長の渡辺さんの「障害があってもたくましく働く」という言葉は印象的でした。平均工賃3万5千円は全国でもトップクラス。すごい!!

参加者の声

- 「施設の見学やお仕事をされている人の話を聞く場など、なかなかないので、また参加したいです。」
- 「スタッフの方も利用者さんも楽しくいきいきと、ときに真剣な眼で仕事をされていました。子どもや地域の人とつながっている施設がとても魅力的でした。」
- 「企画・運営し、同行していた皆さんの熱意は、とても心に響きました。広く皆様に知っていただき、世の中に役立つ人づくりが広がると良いなあと想います。」
- 「今回のツアーに参加させていただいて、想像以上に充実した時間が過ごせました。」

ツアーに参加していただいた皆さん、施設で対応して下さったスタッフの皆さん、ご協力本当にありがとうございました。

一宮市障害者自立支援協議会で行うこと

「一宮市障害者自立支援協議会」は障害のある方が、地域で安心して生活できるようにするため、福祉・保健・医療・教育・労働などの各分野におけるサービスや機能を総合的に調整、推進する場です。

その1 処遇困難ケースなどについての具体的な処遇方針の策定や関係機関へのサービス提供の要請を行います

その2 一宮市障害者基本計画及び一宮市障害福祉計画の進捗状況の確認を行います

その3 サービス提供後の評価と新たなサービスメニューや施策を検討し、関係機関に対して要望提言などを行います

<事務局：一宮市役所福祉課 福祉グループ　電話 28−9134　FAX 73−9124>

一宮市障害者自立支援協議会生活支

特集 「第1回福祉サー

今回の特集は、昨年の10月7日に行われた「福祉の仕事を知るための第1回

このバスツアーは、福祉サービスを利用している方々や福祉の現場で働くみなさんから、その魅力を伝えてもらい、参加者に「自分も何かやってみたい」と思えるきっかけになる場を作りたいとの想いで企画したものです。今回の参加者は21名で、生活支援部会のスタッフが6名、協議会の野田会長と福祉課職員1名の総勢29名のツアーとなりました。

見学1 第2きそがわ作業所

“広くて明るい”が第1印象の施設です。町田施設長さんが、障害福祉にかかわることの意味を語ってくれました。

見学2 福祉ホームきそがわ、ケアホームきそがわ

この広さで13人はかなりゆったり。支援スタッフの川上さんがパワーポイントを駆使してわかりやすく説明。参加者からも「川上さんの仕事に対する思いがとてもよく伝わり、自分も少しでも力になれたらと感じました」との声が。

見学3 療育サポートプラザ チャイブ

空腹をこらえて12時から見学。説明者より「みなさんに声をかけてみて」と言われたけど、「名前がわからない」と苦情。次回は名札をつけます。
ゴメンナサイ。

見学4 昼食はおやまのカフェで

一度に29名のランチ対応で、カフェスタッフの顔が引きつっていたように感じたのは気のせいでしょうか。でもカレーは好評でしたよ。今度は日替わりランチを食べてみたいですね。

「ふれあい・いきいきサロン」を知ってみえますか?

「ふれあい・いきいきサロン」は、小地域を拠点に、市民である参加者とボランティアとが協働で企画を行い、内容を決め、運営していく楽しい仲間づくりの活動のことです。

サロンの参加対象は?

参加の対象となる方は高齢者、障害者、母子・父子家庭の親と子、子育て中の親など多様で、それぞれの生活に共通した課題、または寂しさや不安を持つ人とボランティアである市民が共に地域で生活する者としてつながりを持つ場が「ふれあい・いきいきサロン」であり、その活動形態はグループごとでさまざまです。

サロンの開催場所は?

公民館や集会所など公的な施設を利用する場合が多く見られます。自分が自然に出向きたくなる場所という意味からも、できるだけ歩いて行ける所が良いでしょう。特に決められた規則はありませんので、中には個人のお宅を会場に提供してもらう場合もあると思われますが、参加者に負担がかかり過ぎないように検討しましょう。

サロンの内容は?

参加者が気軽に楽しく行えることであれば特にきまりはありませんが、一宮市内の各サロンでは、「昼食会」、「茶話会」、「健康体操」、「創作活動」、「歌、合唱」、「児童との交流」、「年中行事」、「読み・書き・そろばん」などが行われています。

サロンの費用負担は?

負担金額は、1回当たり200円～500円に設定するグループが多く見られます。

費用の使途は、食事代や茶菓子代が大半となっています。必要な費用はみんなで負担しあう適正な費用負担を検討して、継続できるサロンとなるよう心がけましょう。

サロンの効果は?

「楽しさ・生きがい・社会参加」
「無理なく体を動かせた」
「生活にメリハリが生まれた」
「サロンでは食欲が出る」
「サロン参加日はよく眠れる」
「顔なじみが増え、孤立感がなくなった」など

サロンの立ち上げ・運営の支援を社会福祉協議会で行っています!

立ち上げ支援　①サロンの説明会の開催　⇒　②会場の確保　⇒　③協力者の確保の相談　⇒　④対象者への呼びかけ、など

運営の支援　①活動相談、②ボランティア活動保険加入等の支援、③プログラムの企画支援、④関係機関との連携支援、⑤備品の貸し出し、など

その他、市民の皆さんがサロンを自主運営していけるように支援してまいりますので、お気軽に社会福祉協議会までご相談ください。

ケアマネジャーだより

── 介護保険の支援サービス ──

前回は、ケアプランを本人及び家族の方たちと一緒に考えながら作成するところまでお話ししました。

今回は、ケアプランを実行していくためのサービス担当者会議についてお話しします。サービス担当者会議は、利用者とその家族とサービス事業者や医療関係者など利用者に関わる人達とケアマネジャーが集まって話し合います。

サービス担当者会議は、

① ケアプランを新規に作成したとき

② 要介護認定を受けている利用者が要介護更新認定を受けたとき

③ 要介護認定を受けている利用者が要介護状態区分の変更の認定を受けたとき

などに開催されます。

開催場所は、利用者やその家族の参加が得られやすい自宅で開かれることが多いのですが、退院前であれば病院内で行われることもあります。

サービス担当者会議では、ケアプランをもとに、利用者やその家族の希望や要望を参加者が確認し合い、それぞれの役割分担や方法、回数などについて話し合います。あらかじめ決まった議題だけでなく話し合っている中で様々な気付きが生まれることもあります。

話し合いの中で追加や修正をし、最終的に決まったことを参加者全員で確認し合い、介護サービスの実行に移していきます。

次回は、介護サービスの利用についてお話しします。

第22回　みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”

盛大に開催
ふれあいの輪がひろがりました!!

平成22年10月16日（土）・17日（日）の両日、一宮スポーツ文化センターにおいて、福祉関係者、施設、団体とボランティアが参加し、本会主催による「福祉とボランティア活動展」が開催され、2日間で約5,500人の入場者がありました。

この催しは、市民の皆さんに福祉とボランティア活動に対する理解と啓発並びに参加の呼びかけを目的に毎年開かれています。会場にはそれぞれの活動状況や内容が写真・ポスター・パネル等で紹介され、なかでもバザー・体験コーナーには大勢の人の姿がありました。模擬店も好評で全品が売り切れとなる盛況ぶりでした。

また、福祉映画会では、ウォルトディズニー作品の「カールじいさんの空飛ぶ家」を上映したこともあって大勢の親子連れで賑わいました。そして福祉講演会では、同朋大学の伊東眞理子教授から、サクセスフルエイジングについて先生のご体験を交えたお話しをお聞きし、常に前向きな理想を持ちながら生きることの大切さを改めて感じることができました。活動展のしめくくりには恒例となっています「ふれあい餅つき大会」がおこなわれ、お餅が来場者に振る舞われました。

皆様方のご協力をもちまして無事開催できました。ありがとうございました。

介助犬PRコーナー

ボランティアグループ活動発表会

元気でお過ごしですか？
ひとり暮らし高齢者宅を訪問

社会福祉協議会では、地域の民生児童委員さんのご協力により、ひとり暮らしの高齢者宅への友愛訪問を実施しています。

この事業は年末に担当民生児童委員さんに高齢者宅を訪問していただき、安否確認をすると同時に日常生活での悩みごとなどをお尋ねして、ひとり暮らしの方が地域で孤独にならないよう、安心して暮らしていただきたいという願いで実施しています。

対象者には慰問品が手渡され、「これからも元気でお過ごしください。」とやさしい声をかけられていました。

福祉実践教室を開催しています
～いろいろな福祉体験をいかしてね～

社会福祉協議会では、市内の小・中・高等学校の中から社会福祉について学び、各種事業に取り組んでいただく福祉推進校を指定しています。

今年度は 58 校を指定し、そのうち小学校 31 校、中学校 19 校で福祉実践教室を開催しました。手話、点字、車いす、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験等の福祉実践教室が行われています。児童・生徒の皆さんに、ふだんの授業では触れることのできない福祉という分野、特に障害を持つ人たちへの理解を深め、思いやりの大切さを学んでもらっています。

子どもの頃から福祉を理解し、今後の日常的な実践活動への契機とするもので、皆さん真剣に取り組んでいました。

高齢者擬似体験

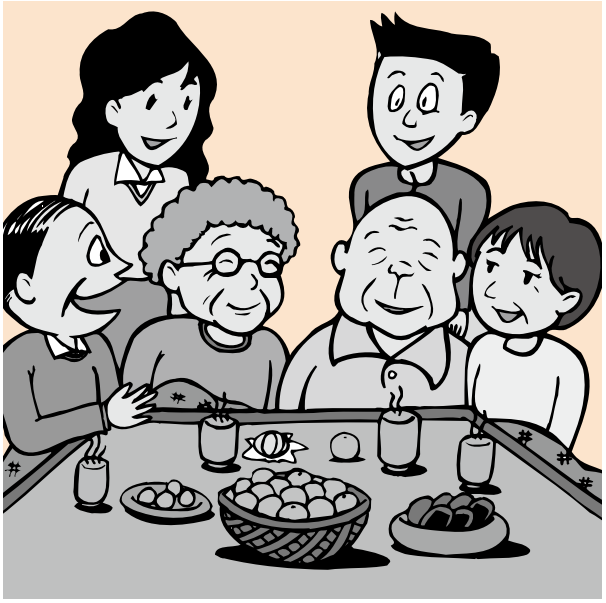
車いす体験

家族介護者のみなさんがリフレッシュしました!

平成22年10月６日(水)、13日(水)の２日間、在宅介護者に対して、日頃の介護疲れを癒し、支援する事を目的に27名の参加者で介護者リフレッシュ事業を開催しました。

10月６日は、社会福祉協議会尾西支部会議室で研修会を開催し、保健師より介護について指導並びに助言を受けました。また、交流ゲーム等の中で自己紹介しながら参加者の方より、日常の苦労や介護の現状を話していただきました。

10月13日は、バスで長浜市に出かけて長浜城、黒壁スクエアを見学し、昼食時には、介護の方法や在宅介護の悩み等を話し合って、のんびりとした時を過ごしていただき、明日への活力としていただきました。



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森　勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子、東丘美子、小池涼子

2010年2月　母(55才)が介護を必要とする身体になりました まだまだ新米の介護生活1年生の私(29才)弟(26才)です

突然ですが、皆さんには介護をする、もしくは介護をされた経験はありますか?どちらもないという方は万が一にもそんな日が来た時の生活について考えた事はありますか?

近年「介護疲れ」が原因とみられる事件の報道をよく耳にしますが、高齢化が進む日本ではもはや他人事ではないのかもしれません。

近年に家族や親族による「介護疲れ」を原因とした殺人、心中、介護放置などで死に至る事件が高齢者だけで少なくとも 400 件以上発生し (2009 年東京新聞参照)、今も増加の一途を辿っているそうです。

「介護疲れ」は介護をする側だけではなく、される側にもきっとあります。先日仕事を終えて帰宅すると、母から一枚の手紙を渡されました。そこにはたどたどしい字でこう書いてありました。「おかあさんをハチ (母が大切にしている犬のぬいぐるみ) といっしょにきそ川にすててください。さむいからダンボールかブルーシートだけ買ってくれますか。ハチといっしょならさみしくないからね。もうめいわくかけません。」母も同じように苦しんでいるんだ…。それに気付いた時、涙をこらえる事は出来ませんでした。私達家族3人にとってこの1年は毎日が手探りで、そして戦いでした。正直全てを投げ出してしまいたいと何度思った事でしょう。でも、投げ出した先に未来という光は見えるのでしょうか?

どうか「介護疲れ」による悲しい報道がなくなりますように…日々そう願いながら、私達家族の介護生活もいよいよ2年生に進級です。

毎回「はじめまして」でも… これからも傾聴ボランティアを続けて

私が傾聴に興味を持ったのは、編集ボランティア委員として関わるようになったことがきっかけです。広報紙で見つけた傾聴ボランティア講座を受講後、老人介護施設へお邪魔するようになって早や２年が過ぎました。初めて施設を訪れた時は、見かけない私を見て不思議そうな顔をされるお年寄りに「こんにちは」と挨拶することで精いっぱい。また、お話を聴かせていただく方の健康状態も三者三様で最初のうちは戸惑いました。なかなか口を開いてくれない方とはどうしていいかわからず隣に座っているだけで終わってしまったり、途中で不機嫌になって黙ってしまわれた時は自分が原因ではないかと落ち込んだり…。

それでも、同じボランティアの人のアドバイスを聞いたり、いろいろ迷ったりしながら現在まで続けてきたわけですが、先日、施設の方からこんな言葉をいただきました。

「いつも夕方になると気持ちが不安定になる方も、ボランティアの皆さんに来ていただいた日は不思議ですが落ち着いていらっしゃいますよ。」

少しでも傾聴の効果があるのなら、とても嬉しいことです。

私は月に１回の活動なので、何度もお話を聴かせてもらっている方から「あなたと話をするのは初めてだね」と言われて寂しい時もありますが、帰り際の「また来てね」という言葉はやはり嬉しいものです。これからもボランティアを続けていこうと思う瞬間です。

「介護初心者」としてのレポート1

最近、私の職場でも、親御さんの介護についての話がちらほら出るようになりました。
実際にはもっとたくさんの人が、親の介護に向き合っていることと思います。

実家の団地でも、いわゆる「老老介護」のご家庭や、両親の介護のために働き盛りで会社を退職なさった男性などもいらっしゃいます。

自身も、親元から離れて住んでいることもあり、もし両親に介護の必要が生じたら、まず何かしなくてはいけないのかという、初歩の初歩ともいえる知識は皆無です。そして、もし看てくれる人がみつからなかったら、仕事を辞めることまで考えなくてはなりません。
上記のケースは、決して他人事ではないのです。

介護という状況に直面したとき、どんな行政サービスがあって、それをスムーズに利用できるよう相談できる窓口はどこか等、簡単に知ることができる保存版冊子のようなものを作成していいただき、各家庭に配布してもいいのでは、と思います。もちろん介護を受ける経緯は人それぞれ違うはずなので、単純にマニュアル化することは難しいのは想像できますが。

介護に関する知識ゼロの私が、「もし自分が介護をすることになったらどうしたらいいのか」というテーマで、これから紹介していきたいと思います。

「介護と暮らし」実録体験レポート5
～何とか猛暑を乗り越えたものの…～

前回までの連載に引き続き、私の父の介護生活の紹介を通して、“介護”生活について思案したいと思います。お付き合いくだされば幸いです。

「要介護２」の認定を受けて、早１年半が過ぎようとしています。（2010・12 月現在）そろそろ来年の要介護更新申請～調査～決定の時期になりました。

週１回のデイサービス（入浴含む）と週２回ホームヘルパーによる家事支援も、まもなく１年が経つことになります。この夏は歴史的な猛暑で、かなり心配していましたが、何とかギリギリですが乗り越えることができました。（神様に感謝！）

また、寝床の「おねしょ」も夏中ほぼなかったことは意外でした。（本当に助かりました）
しかし、安心しているのも束の間、11 月頃より、朝晩冷えてきた影響からか？徐々に衰えていく過程か？昨今、急速にまた「おねしょ」率が上がり、布団が濡れていない日の方が少なくなりました。（オムツをつけているんですが…トホホ）

普段仕事に出ている私は休みの日くらいしか世話ができず、毎日父の家を訪れて世話をしている妻に感謝です。来年はようやく一番下の娘が保育園に行く年齢になります。

最悪何とかそれまでは、今以上の悪い状態にならないように祈るばかりです。

世の中の被介護者を抱えているご家庭の方から見れば、今の我が家の状況は多分「序の口」なのでしょう。（今後はわかりませんが…）世間では介護にまつわる家族間の事件や事故が益々増えています。私も正直なところ理解できる部分がたくさんあります。

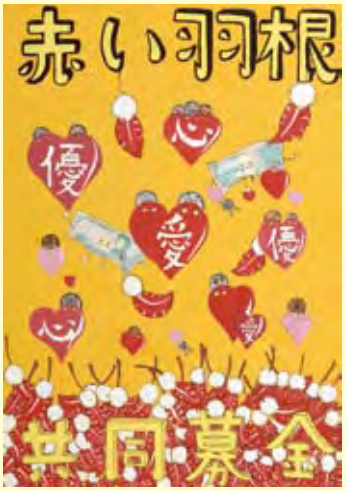
ここ最近は自身の仕事もかなり多忙で、介護の世話については今まで同様に、公共サービス等にもお世話になりながら、何とかできる範囲でその時その時で精一杯やっていくことしかないと思っています。私や妻が潰れてしまえばどうしようもありません。今後も、これが私自身の介護に対する基本ポリシーです。皆様はどのように思われますか？

では皆様、お体、お心をご自愛されお過ごしください。ではまた。

平成22年度
赤い羽根協賛

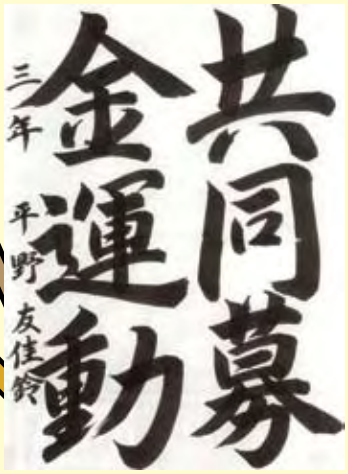
児童生徒作品コンクール 特賞

尾西第三中学校3年　浅川脩介



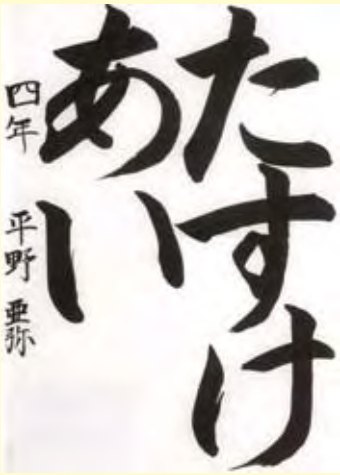
朝日東小学校6年　山根美愛

末広小学校3年　山本祥加



中部中学校3年　平野友佳鈴

浅井中小学校6年　土屋優季



神山小学校4年　平野亜弥

社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会

本　部

〒491-0847　一宮市大和町宮地花池字中道９番地 16
TEL〈0586〉24－2940（代表）　FAX〈0586〉72－5022
ホームページ　http://www.138sk.org

尾西支部

〒494-8601　一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館４Ｆ）
TEL〈0586〉63－4800
FAX〈0586〉61－2970

木曽川支部

〒493-0001　一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL〈0586〉87－2000
FAX〈0586〉86－0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで